



## 2024年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年9月29日

上場会社名 株式会社TAKARA & COMPANY 上場取引所 東  
 コード番号 7921 URL <https://www.takara-company.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堆 誠一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 世利 信之 (TEL) 03-3971-3260  
 四半期報告書提出予定日 2023年10月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年5月期第1四半期の連結業績(2023年6月1日~2023年8月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第1四半期	8,418	1.2	1,832	1.6	1,880	0.7	1,283	1.2
2023年5月期第1四半期	8,318	7.7	1,803	△0.0	1,867	1.4	1,267	11.4

(注) 包括利益 2024年5月期第1四半期 1,380百万円( 5.4%) 2023年5月期第1四半期 1,310百万円( 1.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第1四半期	98.24	—
2023年5月期第1四半期	96.45	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年5月期第1四半期	32,567	26,186	79.4
2023年5月期	33,443	25,082	74.0

(参考) 自己資本 2024年5月期第1四半期 25,858百万円 2023年5月期 24,762百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2024年5月期	—	—	—	—	—
2024年5月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年5月期の連結業績予想(2023年6月1日~2024年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	28,800	4.5	3,900	2.3	2,600	199.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年5月期1Q	13,153,293株	2023年5月期	13,153,293株
② 期末自己株式数	2024年5月期1Q	91,812株	2023年5月期	91,770株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年5月期1Q	13,061,502株	2023年5月期1Q	13,146,013株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。  
四半期決算説明資料につきましては、決算発表後速やかに当社ウェブサイトに掲載予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、withコロナへのシフトが進むとともに、個人消費やインバウンド需要の回復などから経済活動は緩やかな回復が続きましたが、資源や燃料価格の高止まりや円安などの不安要素もあり、依然として不透明な状況が続いております。

こうした状況のもと、当社グループのディスクロージャー関連事業に関係が深い国内株式市場においては、国内景気の回復および世界的な金融引き締めや中国景気の先行き不透明感などを背景に、海外投資家による資金流入が続いたこと等からTOPIXと日経平均株価はともに1990年以来の高値を更新し、日経平均株価は31,000円台から33,000円台の水準で推移しました。

通訳・翻訳事業は、特に通訳事業における主たる事業領域である、大規模な国際会議やイベントの開催が対面やオンラインにより増えており、これに伴う通訳機会も大幅に回復してきております。

このような事業環境において、当社グループは新型コロナウイルス感染症拡大、それに伴う資本市場や経済活動の停滞を契機とした情報開示充実への要請とWeb化、オンライン化、事業体のグローバル化への動きは今後も一層進展していくものと考えております。

with/afterコロナを見据え、多様化するお客様のニーズにお応えするべくお客様の決算開示実務の一層の利便性向上を推進する統合型ビジネスレポートシステム「WizLabo（ウィズラボ）」をリリースし、導入社数の増加に注力してまいりました。また、コーポレートガバナンス・コード適用や東京証券取引所における2022年4月からの新市場区分への移行に伴い、積極性を増すステークホルダーとの対話や非財務情報開示の充実化への需要に対する製品やサービスの提供、「ネットで招集」や株主総会の動画配信（ライブ・オンデマンド）をはじめとする株主総会プロセスの電子化への対応にも取り組んでまいりました。

また、afterコロナにおいても一定規模でリモートワークや遠隔会議の環境は定着していくことが予想されます。通訳事業ではコロナ禍の中、遠隔同時通訳プラットフォーム“interpretfy”が急速に普及しており、従来よりも安価で簡便な形での大規模なイベントの通訳や、海外での会議における通訳者の海外渡航を伴わない国内からの通訳を可能にしております。これは、これからの経済社会の変化において通訳事業が成長するための基盤の一つを構築するものになると捉えております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は8,418百万円（前年同四半期比100百万円増、同1.2%増）となりました。利益面については、営業利益は1,832百万円（同29百万円増、同1.6%増）、経常利益は1,880百万円（同12百万円増、同0.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,283百万円（同15百万円増、同1.2%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、セグメントの業績数値は、セグメント間の内部売上高又は振替高を相殺消去し記載しております。

#### (ディスクロージャー関連事業)

当セグメントにおきましては、統合型ビジネスレポートシステム「WizLabo」や統合報告書の売上は増加しましたが、株主総会関連製品の売上が減少したことにより、売上高は6,350百万円（同73百万円減、同1.1%減）となりました。しかし、各種システムに係る運用保守費用の見直しによるコスト減少などにより、セグメント利益は1,598百万円（同50百万円増、同3.2%増）となりました。

「ディスクロージャー関連事業」を製品区分別にご説明いたしますと、次のとおりであります。

なお、当セグメントにおいて売上区分の見直しを行い、従来「IR関連製品」及び「その他製品」に区分しておりました「ディスクロージャー翻訳」及び「株主総会関連製品」を顧客へ提供する役務内容の変化に合わせて、「金融商品取引法関連製品」及び「会社法関連製品」に区分変更しており、前第1四半期連結累計期間の数値を変更後の売上区分に組み替えております。

#### ・金融商品取引法関連製品

統合型ビジネスレポートシステム「WizLabo」の導入顧客数の増加や、金融商品取引法関連文書の翻訳の売上が増加したことにより、売上高は2,625百万円（同127百万円増、同5.1%増）となりました。

#### ・会社法関連製品

株主総会招集通知の早期開示傾向の影響などにより、株主総会招集通知および関連文書の売上が2023年5月にずれ込み、売上高は1,872百万円（同240百万円減、同11.4%減）となりました。

・ I R 関連製品

統合報告書の売上が増加したことにより、売上高は1,498百万円（同4百万円増、同0.3%増）となりました。

・ その他製品

株主優待関連の売上が増加したことにより、売上高は354百万円（同34百万円増、同10.8%増）となりました。

なお、当セグメントの売上高はお得意様の決算期が3月に集中していることに伴い季節的変動があり、第1四半期および第4四半期の売上高が他の四半期に比べて多くなる傾向があります。

(通訳・翻訳事業)

当セグメントにおきましては、売上高は2,068百万円（同173百万円増、同9.2%増）となりました。

通訳事業においては、G7サミットやビジネスサミットをはじめ、コロナ禍からの経済活動の正常化への戻りとともに、日本での国際会議やイベントも多く開催されました。また、海外出張や対面での会議も戻り、対面とオンラインの組み合わせによるハイブリッド型会議など様々な形式で売上が増加しました。

翻訳事業においては、大口クライアントや大型案件が減少したものの、市場再編等の動きなどによる経営関連の翻訳需要が安定的に推移し、売上は大きく伸長しました。

利益面では、売上増加に加え生産性向上により、セグメント利益は150百万円（同51百万円増、同52.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて873百万円(4.5%)減少し、18,597百万円となりました。これは、現金及び預金が1,323百万円増加し、受取手形、売掛金及び契約資産が1,897百万円、仕掛品が415百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3百万円(0.0%)減少し、13,969百万円となりました。これは、投資有価証券が23百万円、繰延税金資産が94百万円それぞれ増加し、ソフトウェアが127百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて876百万円(2.6%)減少し、32,567百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2,075百万円(28.9%)減少し、5,113百万円となりました。これは、賞与引当金が370百万円増加し、買掛金が921百万円、未払費用が1,259百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて94百万円(8.1%)増加し、1,267百万円となりました。これは、繰延税金負債が47百万円、退職給付に係る負債が54百万円それぞれ増加し、長期借入金が7百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,981百万円(23.7%)減少し、6,380百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,104百万円(4.4%)増加し、26,186百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益1,283百万円の計上による増加と剰余金の配当457百万円などによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年7月7日発表の通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,139,488	14,463,266
受取手形及び売掛金	4,875,281	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	2,978,083
仕掛品	1,031,736	616,501
原材料及び貯蔵品	32,455	32,756
その他	399,257	512,952
貸倒引当金	△7,365	△6,027
流動資産合計	19,470,855	18,597,533
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,356,613	3,390,253
減価償却累計額	△2,694,038	△2,707,543
建物及び構築物（純額）	662,575	682,709
機械装置及び運搬具	1,408,654	1,407,686
減価償却累計額	△1,176,002	△1,190,447
機械装置及び運搬具（純額）	232,651	217,238
土地	3,130,576	3,130,576
その他	883,730	975,491
減価償却累計額	△723,037	△756,566
その他（純額）	160,692	218,924
有形固定資産合計	4,186,495	4,249,449
無形固定資産		
のれん	2,110,304	2,057,925
顧客関連資産	770,926	743,393
ソフトウェア	2,026,145	1,898,990
ソフトウェア仮勘定	175,372	193,917
その他	346,865	337,745
無形固定資産合計	5,429,614	5,231,972
投資その他の資産		
投資有価証券	3,056,799	3,080,429
退職給付に係る資産	282,866	286,515
繰延税金資産	197,919	292,769
その他	820,976	830,299
貸倒引当金	△1,637	△1,637
投資その他の資産合計	4,356,925	4,488,376
固定資産合計	13,973,035	13,969,798
資産合計	33,443,890	32,567,331

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,883,125	961,869
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	134,884	106,884
未払法人税等	919,567	678,987
未払費用	1,857,629	598,494
契約負債	1,283,612	1,275,391
賞与引当金	—	370,509
役員賞与引当金	59,203	11,650
その他	951,002	1,009,292
流動負債合計	7,189,024	5,113,079
固定負債		
長期借入金	57,072	49,851
長期末払金	74,816	74,816
繰延税金負債	673,519	721,398
退職給付に係る負債	365,192	419,474
その他	1,875	1,875
固定負債合計	1,172,476	1,267,415
負債合計	8,361,501	6,380,494
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,278,271	2,278,271
資本剰余金	4,432,688	4,432,688
利益剰余金	17,029,287	18,036,779
自己株式	△205,256	△205,354
株主資本合計	23,534,991	24,542,385
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	787,851	902,791
為替換算調整勘定	17,111	27,935
退職給付に係る調整累計額	422,943	385,264
その他の包括利益累計額合計	1,227,906	1,315,990
非支配株主持分	319,491	328,460
純資産合計	25,082,389	26,186,837
負債純資産合計	33,443,890	32,567,331

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年6月1日 至2022年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年6月1日 至2023年8月31日)
売上高	8,318,548	8,418,741
売上原価	4,604,161	4,627,602
売上総利益	3,714,387	3,791,138
販売費及び一般管理費		
販売促進費	95,073	104,459
運賃及び荷造費	55,855	55,825
貸倒引当金繰入額	△1,965	△1,338
役員報酬	57,048	61,836
給料及び手当	730,564	750,926
賞与引当金繰入額	196,595	198,322
役員賞与引当金繰入額	7,356	11,650
退職給付費用	15,411	10,723
役員退職慰労引当金繰入額	7,158	—
福利厚生費	166,358	173,206
修繕維持費	32,857	28,234
租税公課	83,005	65,660
減価償却費	64,674	63,704
のれん償却額	52,378	52,378
賃借料	85,085	78,776
その他	263,845	304,089
販売費及び一般管理費合計	1,911,303	1,958,454
営業利益	1,803,083	1,832,683
営業外収益		
受取利息	62	71
受取配当金	29,371	30,709
為替差益	13,338	6,463
受取手数料	10,227	4,998
その他	13,505	5,625
営業外収益合計	66,505	47,867
営業外費用		
支払利息	693	453
売上割引	637	—
その他	763	0
営業外費用合計	2,094	454
経常利益	1,867,494	1,880,097



(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年6月1日 至2022年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年6月1日 至2023年8月31日)
特別利益		
投資有価証券売却益	7,979	—
特別利益合計	7,979	—
特別損失		
固定資産除却損	1,587	0
投資有価証券評価損	—	1,203
特別損失合計	1,587	1,203
税金等調整前四半期純利益	1,873,886	1,878,893
法人税、住民税及び事業税	680,037	646,537
法人税等調整額	△78,904	△58,508
法人税等合計	601,133	588,028
四半期純利益	1,272,753	1,290,864
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,760	7,754
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,267,992	1,283,110

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年6月1日 至2022年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年6月1日 至2023年8月31日)
四半期純利益	1,272,753	1,290,864
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	55,217	114,952
為替換算調整勘定	11,166	12,026
退職給付に係る調整額	△29,066	△37,679
その他の包括利益合計	37,317	89,299
四半期包括利益	1,310,070	1,380,163
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,304,285	1,371,194
非支配株主に係る四半期包括利益	5,784	8,969

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間より、当社の非連結子会社であったディスクロージャー・イノベーション株式会社及び株式会社TAKARA Solutions & Servicesは、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

また、当第1四半期連結会計期間において、新たに設立したTOIN EUROPE B.V.を連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	ディスクロー ジャー 関連事業	通訳・翻訳 事業	計		
売上高					
金融商品取引法関連製品	2,497,748	—	2,497,748	—	2,497,748
会社法関連製品	2,113,108	—	2,113,108	—	2,113,108
I R 関連製品	1,493,157	—	1,493,157	—	1,493,157
その他製品	319,613	—	319,613	—	319,613
通訳・翻訳事業	—	1,894,921	1,894,921	—	1,894,921
顧客との契約から生じる 収益	6,423,627	1,894,921	8,318,548	—	8,318,548
外部顧客への売上高	6,423,627	1,894,921	8,318,548	—	8,318,548
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	277,949	277,949	△277,949	—
計	6,423,627	2,172,870	8,596,498	△277,949	8,318,548
セグメント利益	1,548,433	98,566	1,647,000	156,083	1,803,083

(注) 1. セグメント利益の調整額156,083千円には、持株会社(連結財務諸表提出会社)とセグメントとの内部取引消去等△869,776千円、各報告セグメントに配分していない持株会社に係る損益1,025,859千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	ディスクロー ジャー 関連事業 (注) 3	通訳・翻訳 事業	計		
売上高					
金融商品取引法関連製品	2,625,360	—	2,625,360	—	2,625,360
会社法関連製品	1,872,644	—	1,872,644	—	1,872,644
I R 関連製品	1,498,090	—	1,498,090	—	1,498,090
その他製品	354,158	—	354,158	—	354,158
通訳・翻訳事業	—	2,068,487	2,068,487	—	2,068,487
顧客との契約から生じる 収益	6,350,253	2,068,487	8,418,741	—	8,418,741
外部顧客への売上高	6,350,253	2,068,487	8,418,741	—	8,418,741
セグメント間の内部売上高 又は振替高	296	310,326	310,623	△310,623	—
計	6,350,550	2,378,813	8,729,364	△310,623	8,418,741
セグメント利益	1,598,646	150,421	1,749,068	83,615	1,832,683

(注) 1. セグメント利益の調整額83,615千円には、持株会社(連結財務諸表提出会社)とセグメントとの内部取引消去等△771,845千円、各報告セグメントに配分していない持株会社に係る損益855,461千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 当セグメントにおいて売上区分の見直しを行い、従来「I R 関連製品」及び「その他製品」に区分しておりました「ディスクロージャー翻訳」及び「株主総会関連製品」を顧客へ提供する役務内容の変化に合わせて、「金融商品取引法関連製品」及び「会社法関連製品」に区分変更しており、前第1四半期連結累計期間の数値を変更後の売上区分に組み替えております。